

地域医療連携だより

H29.9
第40号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



兵庫医科大学病院における土曜日、 創立記念日等の診療体制の見直しについて

病院長 難波光義



平素は当院の運営ならびに地域医療連携につきまして、格別のご協力、ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院では、さらに地域医療に貢献するべく、平成 28 年度にお知らせしておりましたとおり、平成 29 年度につきまして引き続き土曜日、創立記念日等の診療体制を下記のとおりさせていただくことになりました。

つきましては、「兵庫医科大学病院の方針」及び平成 29 年度以降の診療体制は下記のとおりとなりますので、内容をご確認いただき、医療機関様におかれましては、職員の皆様ならびに関係各部署へもご周知をよろしくお願いいたします。

【兵庫医科大学病院の方針】

- ① 創立記念日（11 月 22 日）が平日にあたる場合は開院致します。
- ② 年 4 日のハッピーマンデーのうち、「敬老の日」、「成人の日」の 2 日は開院致します。
- ③ 第 5 土曜日は休診と致しますが、第 1、3 土曜日の診療（午前のみ）内容は充実させます。



○上記の方針に基づき平成 29 年度以降についても次のとおり実施します。

- | | |
|--------------------------------|---|
| ① 創立記念日（11 月 22 日） | → 開院（平日の業務体制、但し、当日が第 4 土曜日または日曜日の場合は休診） |
| ② 敬老の日（9 月 18 日）、成人の日（1 月 8 日） | → 開院（平日の業務体制） |
| ③ 第 5 土曜日（9 月 30 日、3 月 31 日） | → 休診（休日の業務体制） |

慢性腎臓病治療の地域連携について —兵庫医科大学 腎・透析科の取り組み—

腎・透析内科 准教授 倉賀野 隆 裕



厚生労働省の調査では約1,330万人の慢性腎臓病（CKD）患者が存在すると想定され、CKDは新たな国民病と考えられています。また腎不全による死亡は日本人の全死亡の1.9%を占め、全死亡の上位から7番目となっています。CKDの早期発見や重症化予防には地域医療機関の先生方との密接な連携が必要不可欠と考えています。当科は初期のCKDから透析期の合併症まで幅広く経験豊富な専門医が診療にあたっています。またCKD患者は様々な合併症を伴うケースが多いため当院では他科と円滑な連携をとりながら適切な診断・治療に努めております。eGFRが低下しているケースは勿論の事、検尿異常の段階でもお気軽に当科へご相談頂ければ幸いです。またCKD患者やご家族を対象に、月に1度（1日1時間で1週間にわたり）当院で腎臓病教室を開催し、腎臓の構造・機能、食事、運動療法、薬剤、治療方法について解説させて頂いております。この腎臓病教室は当院通院中の患者様のみならず他院に通院中の患者様も参加されています。患者様やご家族のCKDへのご理解を深めるためにも是非当院の腎臓病教室もご活用頂ければ幸いです。

より充実した乳がん患者さんの支援体制

乳腺・内分泌外科 教授 三好 康 雄



日頃乳がんの診療に関しまして、大変お世話になっております。乳がんは比較的若い女性も発症し、診療科の枠を超えたサポート体制が求められています。兵庫医科大学病院では、就労支援や治療中のアピアランス（外見の問題への対処）を行うことで、少しでも元の生活ができるようサポートしています。また、患者さんやご家族が相談できる「がん診療支援室」を設けています。

出産を希望される女性には、抗がん剤を受けても将来妊娠できるよう受精卵や卵子の凍結保存を行っています。また、遺伝が原因で乳がんや卵巣がんが発症する遺伝性乳がん・卵巣がん家系の女性では、遺伝子検査によって変異があるかどうかで将来がんになるリスクを予測することが可能です。変異が見つかった女性に対しては、がんになる前に予防的に卵巣・卵管や乳房を切除することにも対応しています。再発患者さんには、治験によって新しい薬剤による治療も提供しています。

このように、患者さんやそのご家族が抱える多くの問題に対応できる体制を整えております。今後とも地域に貢献できるよう診療を行ってまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

地域のための高度救命救急医療

救命救急センター 講師 上 田 敬 博



当センターは 1980 年（昭和 55 年）阪神地域で初めて認可された救命救急センターで、今年で 37 年目という古い歴史をもちます。スタッフ医師 15 名と 10～15 名の研修医、数名の非常医師で診療を行っています。西宮市・尼崎市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・三田市・川西市・猪名川町、7 市 1 町 176 万人（平成 29 年現在）を診療圏とし、24 時間 365 日、高度な救命救急医療を行っております。当科の特徴は疾患如何に問わず全ての重症疾患を受け入れていることです。搬入患者の 45% が内因性疾患に対し、外因性疾患 55% と隔たりなく受け入れています。また災害拠点病院として、平成 17 年の JR 福知山線脱線事故で 113 名の負傷者を受け入れの際には統括として活動し、平成 23 年の東日本大震災では DMAT 隊員が航空機による広域搬送に従事し、平成 28 年の熊本地震でも DMAT 隊員が被災地での医療活動を行っています。平成 26 年からは傷病発生地やその近くで医療行為を行うドクターカー医療活動を阪神地域で唯一 24 時間 365 日開始し、救命率や社会復帰の向上に努めています。平成 27 年度にはセンター内に兵庫県内初の熱傷センターを併設しました。これにより診療圏以外の地域からも傷病者を受け入れ、チームで診療にあたっています。広範囲熱傷に対する自家培養表皮植皮術による治療はお家芸となっており、その治療成績は全国から注目されています。このように当センターはこれからも地域の皆様に高度でかつ救命・社会復帰に繋がる医療を提供していきたいと考えております。

開催報告：第 17 回 地域医療懇談会

平成 29 年 6 月 3 日（土）午後 4 時から、ノボテル甲子園において「第 17 回 地域医療懇談会」を開催しました。本懇談会は、阪神南北圏域を中心とした各医師会とご紹介いただいた地域の医療機関と、病診・病病連携を深め、社会が求めるより良い医療環境の充実に努めるため、毎年開催しています。

I 部の懇談会では、兵庫県医師会 空地顕一会長、当院から理事長、病院長、ささやま医療センター病院長、医療支援センター長の挨拶の後、当院の眼科、肝・胆・膵外科、上部消化管外科の 3 名の医師が各科の特色について発表を行いました。

II 部の懇親会では、副理事長の開会の辞の後、尼崎市医師会 黒田佳治会長に乾杯のご発声をいただき、その後は活発な意見交換が行われ、医療支援センター長の閉会の辞で終了しました。

また、会場には新しい試みとして、術野動画の 3D 映像ブースや臓器模型の設置、ポスター掲示を行いました。

各医師会および各医療機関から医療関係者 80 名、兵庫医科大学病院関係者 55 名、合計 135 名の参加があり、盛会のうちに閉会することができました。ここに感謝をもちましてご報告申し上げます。



開催報告：第8回・第9回 阪神沿線健康講座

「阪神沿線健康講座」は、兵庫医科大学病院と阪神電気鉄道（株）が沿線住民の健康増進による沿線活性化を目的として共同開催しており、今回は、近年注目が高まっている「腸」をテーマに、第8回（平成29年6月28日）・第9回（平成29年7月26日）を大阪梅田のハービス ENT で開催しました。

第8回は、内視鏡センター（消化管内科兼務）の應田義雄講師が「大腸がんに対する最新の内視鏡検査と治療」について講演を行い、67名の参加がありました。第9回は、炎症性腸疾患内科の高川哲也特任助教が「腸内細菌とヒトの病気」について講演を行い、97名の参加がありました。

参加者からは第8回、第9回とも満足度の高いコメントを頂いており、今後も皆さまの健康増進に資する様々な取組みを展開していく予定です。

開催報告：Stroke 救急疾患勉強会

急性期脳梗塞の診断・治療に関する地域の医療従事者への情報提供を目的に、「Stroke 救急疾患勉強会～あなたの身の周りで突然人が倒れたら～」を平成29年7月20日に西宮市のプレラホールにて開催致しました。

はじめに、西宮市消防局の救急隊から、西宮市の救急概況やICTを活用した脳卒中患者の救急搬送などの事例報告があり、次に、脳神経外科の三浦正智助教、吉村紳一主任教授から、受け入れ時の時間短縮の取り組みや急性期脳梗塞治療の最前線について発表がありました。勉強会には185名の参加があり、参加された医療従事者間で一連の流れを理解し、最新の情報を共有することができ、大変有意義な勉強会となりました。

兵庫医科大学病院からのお知らせ

健康医学クリニックで定期的な健診を

“がん”をはじめとした生活習慣病の予防と早期発見を担う人間ドック専門施設「兵庫医科大学 健康医学クリニック」が平成27年4月にオープンしました。兵庫医科大学病院や関連病院と連携し、疾患が発見された場合には迅速で質の高い医療を提供する体制を整えています。

お問い合わせ先：健康医学クリニック 0120-682-701（直通）



救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

0798-45-5711 (救急科医師)

循環器疾患と思ったら

080-2475-7380 (循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

080-2529-8239 (脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com